

# 学校だより

平成26年10月15日

NO. 4

辰野西小学校

## 校長講話 (H26.10.9)

皆さんおはようございます。今日は『責任』というお話をしたいと思います。最初クイズを出します。これは誰でしょう。児童会の花いっぱい委員会の人なんです。次行きます。これは誰でしょう。環境美化委員会の6年生です。これは誰でしょう。代表委員会で挨拶をしてる人ですね。今のは児童会の皆さんですが、仕事とか役割をやってくれています。児童会は4年生以上です



だれでしょうか？

が、1年生や2年生の皆さんも仕事をやっているかなと思って、実は教室を見てきたんです。そうしたら、一年知組、係の仕事が書いてありました。仁組さんにも係の仕事が書いてありました。「ならばせ係」っていうのがありました。一生懸命やってるなと思いました。2年生の教室を見てみました。2年勇組さんの黒板の所には、給食の時にこんな仕事をするんですよ。って書いてありました。



さっきも言いましたが、児童会の皆さんも、1から3年生の皆さんも仕事とか役割があります。この仕事とか役割を一生懸命やることを「責任を果たす」と言います。

この山を知っていますか。実はとってもきれいな山で、こんな具合に大きいんですけど、これ、実は『御嶽山』なんです。今の時期、とってもきれいなので大勢の人が登ります。みんなが知っているとおりに、この山が噴火してしまって、大勢の方が亡くなってしまいました。先生と知り合いの南箕輪の人も、実はまだ帰ってこなくてみんな心配しています。先生方のご家族の方で、自衛隊の方がいらっしゃって、今不明になっている人たちを一生懸命探してくれている人もいます。今日は、御嶽山の噴火の話をしします。



この方は、小寺祐介さんて言います。御嶽山の『二ノ池』っていう所の小屋をやっています。噴火前はこんな小屋でした。ところが9月27日、噴火してしまいました。小屋がどうなったかって言うと、噴火したときどうなったか。ちょっと難しいけど、ここの言葉を出してきますので、読める人は一緒に読んでください。

「山小屋には、山に登った人たちが次々と叫びながら駆け込んできた。『だいじょうぶ』『安心して』ってみんなに声をかけた。みんなを食堂に連れて行くと、天井から大きな音。『ガン、ガン、ガン』石が次々と降り注いできた。大きな石が当たったトイレは、屋根が崩れ落ちた。」

つまり、大勢の人が入ってきて、食堂にみんなを入れたんだけど、石が降ってきて、屋根が壊れてしまった。じゃあ、小寺さんはどうしたんでしょう。次、これ、小屋の中の様子です。



「このままでは危ない。みんなを屋根が二重になった場所に集め、ヘルメットを配った。『ここは屋根が丈夫だから安心して』。窓から外を見ると煙で真っ黒だった。突然雷が鳴り、雨も降ってきた。小屋の中に毒のガスが入り始めている。」

ここ見ると、二重になっている所に案内されて『安心して』って言われたんだけど、ところが、回りを見ると外は真っ暗。しかも、ガスだとか火山灰が中に入ってきた。じゃあ、小寺さんはどうしたのでしょうか。小屋の中はこんな具合になってきてしまったそうです。

「小屋にあったヘルメットとマスク代わりにタオル、それに飲み物をみんなに渡した。石が屋根に当たる音がしなくなり、雨もやんだ。『よし、今しかない』小屋を出て山を下りることにした。」

ずっと石が降っていたりしたんだけど、雨もやんだので、今しかないと思って外に出ることにしたんです。このまま小屋にいたらきっと危ないっていうわけだね。でも、外もどうなっているか分からないよね。さあ、小寺さんたちどうなるんでしょうか。これが外の様子だそうです。

「火山灰で、どこも白くなった道をロープに沿って下っていった。一列に並んで慌てないでゆっくりと。大声で励ましながら、9合目の小山まで全員を連れて行き、そこに避難していた100名と合わせて、150人ほどの人を、山のガイドにお願いして、下山させた。」

この中を、ロープたどりながら、時々声をかけながら、下の小山まで案内をして、下の小屋に100人ほどいて、小寺さんが連れて行った50人とあわせて、150人の人を下の人をお願いして、無事に山を下りてもらった。良かったですね。その後、小寺さんがしたことは何かって言うと、小寺さんは、なんと、まだ避難してくる人たちがいるかもしれないと、戻って行ってしまった。

「自分が山を下りたのは、その日の夕方だった。」

つまり、そんな危ないところをみんなを案内しておいて、そのあと、またさっきの小屋に戻った。他の皆さんが下った後に、また様子を見て下ってきたんだそうです。

実は、この小寺さんのお話が、お隣の韓国という国では、「ああ、こんな人がいるんだ」って言って、とても話題になっているそうです。どんな風に話題になっているかって言うと、50人の人を、うんと冷静な判断で助けた。こんな人がいるとは、拍手を送りたいと言っているそうです。実は、韓国では、ちょっと前にこんな事がありました。セウォル号が沈んで多くの人たちが亡くなってしまったということがありました。その時に、船長さんが真っ先に逃げてしまったっていうお話がありました。そんなこともあったので、韓国の皆さんは、この小寺さんの行動は『すごいな』なんておっしゃっているそうです。

命に関わることなので、どんな判断をして、どんな行動をするかは難しいところもありますが、校長先生も小寺さんって『すごいな』と思いました。

『責任』をやりきることを『責任を果たす』って言います。『果たす』とは『やりきる』ことです。皆さんも児童会の仕事、組の仕事、あるいはお家にも役割があると思いますが、しっかり責任を果たしてみましよう。

